

## 精神的ストレス+脱ステのリバウンド+カポジ水痘様発疹を乗り越えてドラッグフリー

32才 男性 入院期間 H25.5.30～8.20

幼少時は小児喘息であった。19歳から顔や体幹部にアトピー性皮膚炎が生じはじめ、たまにステロイド外用を使用することがあった。

H22年、地元の勤務に戻ったが、アトピーが軽症ながら慢性的に生じるようになり、近医でステロイド外用を行っていた。

H25年2月、職場のストレスや過労に加え、帯状疱疹+単純ヘルペス感染（カポジ水痘様発疹）も罹患して全身性に悪化。

近医では全身性にステロイド・プロトピック外用を処方されていたが、4月からコントロール不良となり、ストレスで頭部の円形脱毛も生じ、4月16日当院受診。

脱ステロイド・脱プロトピック治療を開始した。外来にてバチルス入浴ケアを行ったが改善は見られず、5月からは休職しH25年5月30日入院。

**経過** 脱ステロイド、脱プロトピックのリバウンドで炎症は非常に悪化し、37度台の発熱が入院後1か月持続したうえ、カポジ水痘様発疹も2回発症。

39度の発熱も3日生じた。しかしBSC開始1ヶ月経過すると炎症は急速に改善し、TARCは12分の1に低下。2ヶ月目には65分の1に低下した。

退院時の処方ではビタミン剤の内服のみであった。自宅でもBSCを継続し、退院後の10月の外来診察では一層改善しています。

精神的ストレスが強い場合はゆっくりとした入院環境で心も体も癒すのが最適です。

	基準値範囲	2013/4/16	2013/5/31	2013/6/28	2013/7/30	2013/8/20	2013/10/16
TARC	450 以下	3202	70851 ↑	5969 ↓	1081 ↓	692 ↓	512 ↓
LDH	120～245	325	629 ↑	434 ↓	233 ↓	173 ↓	173
IgE	170 以下	3599	2388	3839	4865	2983	2295
好酸球	7%以下	7.9	12.0 ↑	29.0 ↑	14.8 ↓	7.8 ↓	7.8
CRP	0.3 以下	*	2.3	1.8 ↓	0.4 ↓	0.3	*
POEM（自覚症）	最重症 20～28	18	28 ↑	28	9 ↓	4 ↓	3 ↓

